

R 8 年度 評価と今後の改善点 しずおかカノン

	チェック項目	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	室内の数及びスペース的に十分確保されております。 また、従来より行っています祝日、土曜日の市民体育館でのレクリエーションスポーツも継続して行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	職員の配置数、専門性は基準に合わせ適切に配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	適切に行っています
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	保護者の皆さんと一緒に支援計画を作成し、その都度丁寧に子供の様子を伝えるようにしています。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	ミーティングで、毎月新しい活動プログラムを企画していますさらに工夫していきたいです。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	課外活動の時、交流しています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	入所時の際、丁寧に説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	希望者には随時面談をして丁寧に様子をお伝えしています。また、時間の無い保護者には電話・メール等でお伝えしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	保護者からの相談依頼があれば、助言等の対応をしています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	保護者のアンケートに協力をしています。 利用者の在籍校が多岐にわたるため、全体保護者会は難しいが、グループ・個別に対応しています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	規定に沿い苦情窓口を設置しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	情報伝達には特に気を使っています。 今後も子どもや保護者とのコミュニケーションを大切にしていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	発信をしています。お便りを配布したり、事業所に掲示などを行っています。
14 個人情報に十分注意しているか	個人情報には十分に注意をしています。今後も個人情報の管理には最新の注意を払って取り組んでいきます。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各規定を作成すると共に訓練を行っています。内容は子ども、保護者に連絡・報告を行っています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	毎月1回訓練を行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	子供達の楽しんでいる様子が見られ、今後もみんなの笑顔が続くように支援していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	SST 学習・スポーツ・プログラミング・音楽・芸術・課外活動・職場実習等により多くの体験や実践ができ、将来の豊かな生活につながるよう沢山の選択肢を提供しています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。